

第14回 蔵前ベンチャー相談室セミナー蔵前工業会・東工大共催

蔵前工業会ベンチャー相談室&如水会(一橋大学同窓会)平成若手の会

「天職を創る！」

一橋大卒業生・田山 毅氏・安藤 穰氏のお二人、東京工大卒業生・兼清 真人氏・河村 浩一氏のお二人、そして講演部会長の公平 良三および転職専門家の赤羽根 大輔氏によるパネルディスカッション「天職を創る！」が、3月2日(金)に、東京・田町のC I C国際会議室で開催された。



パネラーの発言要旨

安藤 穰氏 小学6年生の時にタイ・バンコクへ。バンコクでの経験が無我夢中の大切さを教える。高校ではビリから二番目を確保して卒業。一浪後、青山学院に入学するも、一念発起して一橋大学に入学。卒業後、外資系コンサルティング会社に入社。しかし、システム開発業務に興味が持てず、恩師・竹内先生の薦めも有って、インドのIT系の会社に転職。現在は、日本市場における「打倒中国ベンダー」の思いを持っており、非常に遣り甲斐を感じている。特に、マーケティングの立場からインドのIT産業を盛り上げる為に頑張っている。転職の際の選択基準としては収入・やる気・看板が考えられる。但し、転職の場合に限らず、全ての面で縁が大事であり、縁を大事にしている。

兼清 真人氏 大学ではNMRを用いた高分子物性の研究で博士課程を修了。その後、私立大学に奉職するも、ニューフロンティアを目指し、これまでの研究とは全く異なる有限会社リシックに就職する。リシックは物流分野での情報システムの調査・計画・設計・構築を主に行っている。現在の仕事は、仕事量が収入に直結し、かつ、システムの応用性の高さより更なる技術開発・取得の点から将来性の高さを感じている。そして、非常に遣り甲斐がある仕事に廻り合え、現在の仕事は天職であることを実感している。

田山 毅氏 転職と言うよりは、勤め人から一国一城の主となった。会計士の収入は、6～7年目で、一般的には1200万程度であるが、仕事量に比例する収入なので遣り甲斐を感じている。仕事内容は、会計・税務と言った内容で、面白味も感じている。独立・開業したことで、営業などの全てを一人で行なわなければならない大変さもあるが、仕事先の選択・人の採用にも自分の信念を通すことが出来、満足している。更に、人との出会いが全ての始まりで、年上の方・年下の方との出会いによって自己啓発も促されている。

河村 浩一氏 東工大の生命理工学部から同大学院を修了。この後、東証一部上場(現在は非上場)でシロアリ駆除では大手の株式会社キャッツに入社。入社後は木材保存研究室に配属。しかし、スペインに惹かれ、退職しようとした処、上司からスペインでの子会社の設立関与を要請。但し、本件業務終了後に退社。退社後、スペインに1年間留学。この留学中にスペイン留学報告書を作成。帰国後、スペイン留学報告書を持って就職活動。この報告書が評価されて就職。しかし、再度の転職が行われ、本日が転職後2日目である。業務内容は前回と同様な医薬品関係であるものの、より高年俸である。現在は、会社とは別に、スペインの文化交流・文化の普及・セミナーの開催などを目的としたNPO法人を設立し、活動している。そして、人との出会いを非常に大事にしている。

公平 良三氏 東工大・博士課程を修了後、当時は町工場の赤井電機に就職した後、コンサルティング会社に転職し、現在は、米国で起業している。又、日本でもジャパン・レップ・ネットワーク合同会社を設立し、ベンチャー企業の販売代行を行なっている。転職についての自身の経験からすると、転職の基準は仕事の満足度(報酬・面白さ・成長性)によると感じている。尚、人との出会い・縁を非常に大事にしている。

赤羽根 大輔氏 転職情報誌・サイトを運営している。キャリア志向が強い20～30代がメインユーザである。アンケートによれば年収に不満の比率が高い。希望額との差額も大きくなる傾向。仕事の目標・モチベーションが第

一と考える人は少ない。キャリアの多様化、剥き出しの上昇志向の減少がキャリアトレンドとしてある。キャリアを積む上で重要なことは、「長期的な展望＋瞬発力」である。転職は目的では無く、手段に過ぎず、天職を求めて欲しい。

質疑・応答

「転職において、『帰属意識』をどのように感じるか？」

赤羽根氏 帰属意識は薄れている。但し、転職した事によって転職した会社に恩返しを行うことが出来るのでは無いかと考えられる。

安藤氏 会社「アクセンチュア」では帰属意識を感じることは無かった。同窓会(如水会)には強い帰属意識を感じている。

河村氏 一般的な帰属意識は有るものの、良い方を選ぶと言う感覚で転職した。

兼清氏 理系は、『エンジニアとして何をやりたいか』が大きく、技術職としては何が面白いかが帰属意識に大きな意味を持っていると思われる。

「起業する可能性は？」

安藤氏 有る。インドITで培った部分から、インドと日本を繋ぐ事業を興したい。

河村氏 有る。スペインに移住し、事業を興したい。

兼清氏 現在は無い。会社自体がベンチャーなので起業は考えていないが、他方面への進出は考えている。

懇親会

今回は一橋大・如水会とのジョイントだったことから、若い方・女性が比較的多かった。22時を過ぎても最後まで議論を交わす女性・学生も数多くいた。そして、如水会の女性たちから、今後、蔵前工業会のセミナーに積極的に参加したいとの声を数多く聴いております。特に、一橋大とは性質の異なる方々の縁が得られ、今後も楽しみですとのこと。転職・起業・天職いずれにしても、人との縁によって始まることを実感しており、そして「縁尋機妙・多逢勝因」の通り、縁とは不思議なもので、良い人に逢っていると良いことが起きることを実感しております。その意味でも、蔵前工業会の同窓生には蔵前ベンチャー相談室のセミナーに積極的に参加をお願いしたく、ここで得た縁を基にして今後の人生を大きく切り拓いて行って欲しいと思います。

(KVSコーディネーター 宇高克己 昭和45年応化)